



1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立岡山東商業高等学校		
実践者等	森 隆憲	実践日	令和3年6月4日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	朝学（始業前10分間の学習時間）		
対象生徒（学年等）	1年生		
単元名 (教科・科目の場合のみ)			
使用したアプリ等	English4Skills (NTT ドコモ)、ロイロノート・スクール		
実践の概要（ねらい等）	朝学の時間を利用して、個別学習（検定対策）や基礎学力（漢字など）の向上を図る。		
実践の内容			
<p>本校では、数年前より朝のSHRを、始業前10分間の学習時間とし、基礎学力向上に充ててきた。これまでは、ベネッセの「マナトレ」や読書、あるいは独自の教材を用意し実施してきた。今年度の1年生からは、1人1台端末が導入され、「ことまな」の辞書アプリやGoogle Workspace、ロイロノートなど様々なアプリも導入された。これを機に、実施の方法を1人1台端末ベースで行うこととした。</p>			
<p>1 ロイロノート・スクールを利用した小テストの実施</p> <p>ロイロノート・スクールの機能にあるテスト機能を使い、漢字テスト（本校独自の取り組みで年5回実施）や、国語の授業（辞書アプリ「ことまな」の使い方）における取り組みとして、小テスト形式で問題を解かせた。</p> <p>また、正答率等もすぐその場で出るので、生徒のウィークポイントを見つけやすく、授業の展開や出題内容へのフィードバックにも利用できる。</p>			
			
		<p>独自に作成した小テスト問題（4択）の一部</p>	
<p>2 English4Skills を利用した検定対策</p> <p>English4Skills で実力診断を行い、実用英検や全商英検など、各自で取り組む級を設定させ、朝学の時間を使い、各々にあった学習を進めさせた。また、朝学の時間だけでは不十分であるので、教師生徒の取組の進捗状況をチェックし、個別にアドバイスを与え努力させている。</p>			
			
		<p>各自が、自分のタブレットで取り組んでいる様子</p>	
参考となるHP等			